

2024上伊那野球・ソフトボールの日 開催報告



上伊那地区野球協会は12月1日(日)に、未就学児～小学校低学年を対象に、「2024 上伊那野球・ソフトボールの日」を開催しました。野球・ソフトの日では、キャッチボール・ストラックアウト・ホームラン競争・リアル野球盤・スピードガン・運動遊び・ユニフォームフォトスポット・少年野球紹介といった8つのブースをスタンプラリー形式で巡ることで、野球やソフトボールの楽しさに触れてもらえるイベントです。未経験者や未就学児の子どもたちには、中高生がコンシェルジュとして付き添い、一緒に各ブースを回ったり、キャッチボールをしたり、時には野球やソフトボールの枠を超えて、鬼ごっこをしたり！？しながら、野球・ソフトボールの楽しさを伝えました。またイベントの合間には、現役の高校球児やソフトボール部員、地元出身の独立リーガーがパフォーマンスを行いました。子どもたちからは大きな歓声が上がるなど、会場を盛り上げてくれました。

各ブースの様子1



パフォーマンスの様子



上伊那地区では、まだ長野県野球協会が発足する前の2018年夏に「ダイヤモンドスポーツフェスティバル」と題して、同様のイベントを開催しましたが、コロナ禍の影響もあり、長野県野球協会発足後は初めての大きな普及イベントとなりました。

イベントは午前部・午後部の2部制で開催し、少年野球チームの協力の下、チーム所属の子どもたちには、参加する時間帯を調整していただきました。またチーム所属の高学年子どもたちは、隣の伊那ニッパツ野球場で、中学生との野球遊び、交流会を行いました。おかげで球場内は混雑することなく、野球・ソフトボール未経験の子どもたちや、未就学児が優先して遊ぶことができました。

当日は12月にも関わらず、非常に暖かく、過ごしやすい陽気となり、子どもたちは元気に球場内を駆け巡りました。子ども約430名、その家族や少年野球指導者ら約200名、合計約630名が上伊那各地から伊那ニッパツスタジアムに集まり、会場は熱気に包まれました。

各ブースの様子2



来場した子どもたちからは「楽しかった。」「チームに入りたい。」という声が多く上がり、保護者からも「来年も参加したい。」「子供がとても楽しんでいた。」「野球・ソフトボールの楽しさを知れた。」といったお声をいただき、このイベントの野球・ソフトボールの振興・底辺拡大への効果と手ごたえを感じました。また「高校生の対応が素晴らしかった。」「優しいお兄さん、お姉さんのおかげで楽しめた。」「家族以外とのつながりを持つことができた。」

「対応してくれた○○君に感謝。」などの声が寄せられ、私たちが目指していた野球やソフトボールの楽しさを伝えること、野球・ソフトの競技人口の増加・振興につながってほしいという思いを越えて、「人と人とのつながり」を生み出し、地域の活性化につながる温かいイベントとなったようにも感じました。

今回の「上伊那野球・ソフトボールの日」は復活初年度ということで、課題も多くあります。しかしながら、上伊那地区野球協会では、来年度以降も地域と手を取り合いながら、「野球・ソフトボールの日」をより良いイベントにバージョンアップし、継続的に開催し、野球・ソフトボールの底辺拡大と振興を目指し活動していきます。

2024年 上伊那野球・ソフトボールの日 概要

- 1 主催 上伊那野球・ソフトボールの日実行委員会 上伊那地区野球協会
後援 上伊那地区の各自治体教育委員会
- 2 協賛 ルビコン株式会社、KOA 株式会社、伊那食品工業株式会社、株式会社中央鋳金
- 3 日時 12月1日(日) 午前部(9:30~11:30)、午後部(12:30~14:30)
- 4 会場 伊那ニッパツスタジアム
- 5 対象 未就学児及び小学校低学年(野球・ソフトボールの未経験者)。 小学校高学年や既に野球・ソフトボールを始めている児童も参加可能。
- 6 参加スタッフ数
中高生約170名
 - ・参加チーム
高校野球部 辰野、箕輪進修、上伊那農業、伊那北、高遠、伊那弥生が丘
赤穂、駒ヶ根工業、
 - 高校ソフトボール部 伊那西、伊那弥生ヶ丘(男子)
 - 中学ソフトボールクラブチーム イ～ナ Jr. ソフトボールクラブ
 - ・一般スタッフ約60名(小中高指導者・教員、ボランティアなど)
 - ・特別ゲスト 信濃グランセローズ山田 夢大選手
(日本高野連に申請・許可取得の上、参加)
- 7 来場者数 子ども430名 大人200名